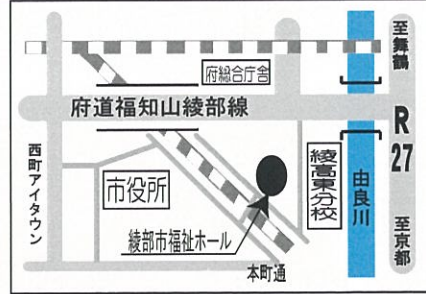


あやべの杜協



編集発行/社会福祉法人綾部市社会福祉協議会 綾部市川糸町南古屋敷5-1綾部市福祉ホール内 TEL (43) 2881 FAX (43) 2882



ほのぼのの会は今年6年目となります。当町区も高齢化が進む中で、気軽に声かけができ、お互いが助け合える自治会になるように、何かお役に立つことがないだろうかという5人でサロンを立ちあげました。自治会と相談をし、月一回のつどいを実施。お茶を飲んでおしゃべりをしたり歌を唄ったり和やかに一時を過ごしていただき、例会を重ねるうちに活動内容も充実してきました。短時間の例会ですが脳トレ、作品作り、体操、健康や介護の学習などを行い、終了前には歌を唄って解散です。また季節にあった行事には食事会を(お花見・クリスマス・おひなまつりなど)、手作りの料理を世話人で行い、バイキング形式で皆さんに喜んでいただいています。綾部市社会福祉協議会の足湯事業も毎年御世話になり身も心も温まりたいへん心待ちにしています。また、

ほのぼのの会
 発足 平成25年6月
 スタッフ 5名
 会場 旭ヶ丘公民館
 連絡先 大塚容子
 問 47-0846

外部講師による講演会は自治会に参加を呼びかけていただいて大勢の参加を得ました。自治会主催の納涼祭には、ほのぼのの会の出番を依頼され、歌やきよしのズンドコ体操を披露し、参加者の皆さんが一体となって参加して下さって大いに盛り上がり、大盛況でした。ほのぼのの会も町区の皆さんに認められつつある事を実感しました。また活動の一環として福祉バスを利用して、日帰り旅行も楽しみの一つとなっています。今後も地域の皆さんが気軽に立ち寄れるサロンを目指し、忌憚なく話ができ、笑ったり泣いたり、和やかな一時が過ごせ、「来てよかった・楽しかった・また来たい」と言ってもらえ、地域の皆さんのつながりがよりいっそう深まり、安心して過ごしていただけることを願ってサロンを継続していきたいと思っています。

《毎月市内のサロン活動を紹介していきます》

善意の寄託

たくさんのご寄付ありがとうございます。

みなさんから寄せられた善意は、社会福祉事業に活用させていただきます。(敬称略)

(平成30年3月1日~4月30日)

- 梅垣清(小畑町) 50,000円
- 一市民 5,000円
- 一市民 13,000円
- 一市民 100,000円
- 小林和子(舞鶴市) 使用済み切手13g
- 下市女性の会 使用済み切手120g
- 山家民児協 使用済み切手510g
- ふきのとう 使用済み切手75g
- 鉄道OB会綾部支部 使用済み切手210g
- 一市民 使用済みテレホンカード多数
- ◆一市民 食材×7件
- ◆一市民 歌謡曲CD
- ◆一市民 巻尺
- ◆一市民 風景写真集
- ◆一市民 タオル
- ◆一市民 洗濯ばさみ
- ◆一市民 手芸作品
- ◆一市民 ペーパーフラワー
- ◆一市民 一輪差し
- ◆一市民 ハンカチ
- ◆一市民 衣類
- ◆一市民 歌謡曲テープ
- ◆一市民 雑巾
- 一市民 30,000円
- 一市民 種芋
- 中野菊代(西坂町) 衣類
- 一市民 手芸小物
- 岩崎あい(中ノ町) 食材
- 一市民 食材
- 一市民 食材
- ◎田中丈夫(神宮寺町) 10,000円

●綾部市社会福祉協議会に ◆社協の家つどいに
 ■社協の家なごみに ◎ふるさと綾部の老人を守る会

登録ヘルパー募集!!
 綾部市社会福祉協議会では、登録ヘルパーを募集しています。活動日数や時間は相談に応じます。詳しくは、お問合せ下さい。
 ●職種・登録ヘルパー
 ●資格・介護職員初任者研修修了者(旧ヘルパー2級資格所持者)、介護福祉士
 ●問・綾部市社会福祉協議会(電話 47-08081)

生活・介護支援サポーター養成講座 17期生受講者 募集!

通称:ゴールド・サポーター(Gサポ)

あなたの声かけで、人は笑顔になり、その笑顔が、あなたの生きがいに。



- 受講対象:綾部市民の方【定員25名】(応募者多数の場合は、抽選)
- 講座内容: 対人援助の基本、認知症の理解、社会資源の理解・活用など20時間の講座です。全日程を受講された方には修了証をお渡しします。
- 受講料:無料
- 日程: ①6/8(金) ②6/15(金) ③6/22(金) ④6/29(金) ⑤7/13(金)
- 時間:10:00~15:00
- 会場:綾部市福祉ホール(川糸町)
- 締切:5月31日(木)
- 実施主体:綾部市
- 運営主体(問・申込先): 綾部市社会福祉協議会(43-2881)

あなたの「出番」です

ボランティア活動を始めた方、ちょっと勉強してみたい方、誰もが安心して暮らせる「あやべ」を一緒に作りませんか?



元気になるエッセイ

綾部コミナスAtoZ

昨春から綾部の奥上林と西八田地区で活動されている3名のコミニティイナリスさん。注目する活動なので、お出合いするご縁をいただいたときから、コミニティイナリスの精神活動のころをAからZまでの26のキーワードで表現されたらいいです。例えば、Kは傾聴でした。例え、昨年未から「コミニティイナリスのころ」を表現するミニブックをつくろうという話がまとまり、この度、「綾部コミナスAtoZ」が完成しました。CDジャケット

ケットサイズの16ページの小さな冊子ですが、まちづくりや福祉などにも参考になるのではないかと考えます。綾部市役所西庁舎の定住・地域政策課でも入手可能です。AtoZという編集手法を使って、こんなテーマも冊子にできるはず!
 何かよいアイデアが生まれましたら、ぜひお聞かせください。ネタはいっぱい足元に落ちていきます。

塩見直紀
 (半農半X研究所)

ご意見・ご感想をお聞かせください。

平成30年度 綾部市社会福祉協議会事業紹介

平成30年度綾部市社会福祉協議会事業計画より、主な事業を紹介いたします。「いばしょ」と「出番」をキーワードに地域福祉を進めます。皆さまのご参加、ご協力をお願いします。



重点事業 (地域福祉部門)

1

新たな助け合い、支え合い活動の推進

人口の減少と少子高齢化、家族や地域のつながりが希薄になる中、年をとっても、体が不自由になっても、住み慣れた地域での暮らしが継続できるようにするために、「助けて」といえる地域、その声を「受け止める」ことができる地域、その声に「応え得る」地域をめざしています。



●生活支援体制整備事業の推進と第4次地域福祉活動計画づくり

平成29年度より綾部市から委託を受け生活支援体制整備事業に取り組み、地域の多様な主体による支え合いの仕組みづくりをすすめています。今後、より住民の身近な地域で、本事業が展開される予定の中で、地域の福祉課題を明らかにし、住民が主体となって助け合いの地域づくりを継続的にすすめることは、本会がすすめている地域福祉活動計画づくりと重なる部分があります。生活支援体制整備事業と、地域福祉活動計画づくりを連携させ、次期の地域福祉活動計画づくりを視野に入れた取り組みを進めます。

- 生活支援コーディネーターの設置
- 第1層協議体の運営
- 第4次地域福祉活動計画策定に向けた準備

●災害時の対応力の向上

常設型の災害ボランティアセンターの運営をすすめる、平時からの研修や訓練などの備えをすすめます。

- 災害ボランティアセンター運営委員会の運営
- 災害時のたすけあいを目的にした研修会の開催
- 社会福祉協議会のBCP計画の作成

●主要事業の紹介



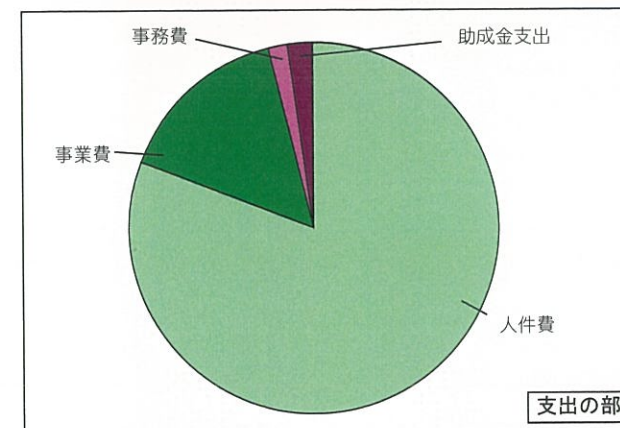
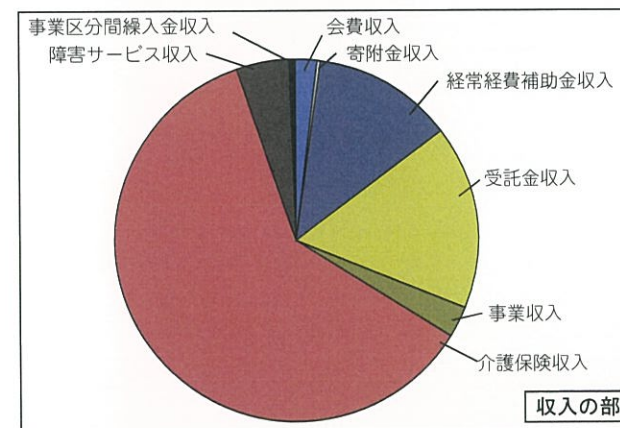
平成30年度綾部市社会福祉協議会事業計画

「いばしょ」と「出番」を地域に

今、わが国においては、制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が「我が事」として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて「丸ごと」つながること、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域とともに創っていく社会、すなわち地域共生社会の実現に向けたさまざまな取り組みがはじまりました。また、平成30年度は6年に1回の診療報酬と介護報酬、障害福祉サービス報酬の同時改定、医療計画や介護保険事業計画が新たにスタートするなど、大きな節目となる一年となります。

本市においては、前年度より本会が綾部市から委託を受け、新しい地域の助け合いをすすめる「生活支援体制整備事業」に取り組み、既存の地区福祉推進組織をはじめ、あらゆる資源を有機的に結びつけ、新たな綾部の地域のたすけあいの構築をめざし一歩を踏み出してきたところです。

第3次綾部市地域福祉活動計画および基盤強化計画Ⅱは4年目を迎え、これまで積み上げてきた活動の評価見直しと次期の計画づくり、そして、新たな綾部の地域のたすけあいの構築を一体的に取り組み、誰もが安心して生活できる地域づくりをめざします。



平成30年度綾部市社会福祉協議会資金収支予算

(単位:千円)

勘定科目	前年度 当初予算(A)	当初予算(B)	増減(A-B)
収入			
会費収入	5,530	5,439	91
寄附金収入	1,035	630	405
経常経費補助金収入	34,650	33,926	724
受託金収入	41,554	44,439	-2,885
事業収入	7,762	7,407	355
介護保険事業収入	162,843	164,343	-1,500
障害福祉サービス等事業収入	11,175	12,541	-1,366
受取利息配当金収入	280	315	-35
その他の収入	0	910	-910
事業活動収入計(1)	264,829	269,950	-5,121
支出			
人件費支出	210,344	218,256	-7,922
事業費支出	43,698	41,871	1,827
事務費支出	5,417	4,281	1,136
利用負担軽減額	100	0	100
助成金支出	5,465	5,542	-77
その他の支出	0	0	0
事業活動支出計(2)	265,014	269,950	-4,936
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	-185	0	-185
施設整備等補助金収入	0	0	0
施設整備等寄附金収入	0	0	0
その他の施設整備等による収入	0	0	0
施設整備等収入計(4)	0	0	0
固定資産取得支出	0	0	0
固定資産売却・廃棄支出	0	0	0
その他の施設整備等による支出	0	2,234	-2,234
施設整備等支出計(5)	0	2,234	-2,234
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0	-2,234	2,234
積立賦取前収入	0	15,913	-15,913
事業区分間繰入金収入	150	0	150
拠点区分間繰入金収入	0	0	0
その他の活動による収入	0	0	0
その他の活動収入計(7)	150	15,913	-15,763
積立資産支出	0	10,679	-10,679
事業区分間繰入金支出	150	0	150
拠点区分間繰入金支出	0	0	0
その他の活動による支出	0	0	0
その他の活動支出計(8)	150	10,679	-10,529
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	0	5,234	-5,234
予備費支出(10)	0	3,000	-3,000
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	-185	0	-185
前期末支払資金残高(12)	72,806	69,072	3,734
当期末支払資金残高(11)+(12)	72,621	69,072	3,549

重点事業 (在宅サービス部門)

3

地域包括ケア体制への貢献

年をとっても、体が不自由になっても、できる限り住み慣れた地域の中での暮らしを支援していく地域包括ケアをすすめていくために、一人ひとりの利用者の自立の可能性を探求し、常に連携を意識したサービスを提供していきます。



介護の必要な高齢者や障害者が、住み慣れたご自宅での生活を応援しています。介護保険や障害者総合支援法に基づくサービスを提供していますので、ご利用にあたっては、ケアマネジャーや地域包括支援センターなどにご相談ください。(写真は、訪問入浴介護のサービスを行う看護師と介護職員)

●訪問介護

ホームヘルパーがご自宅を訪問し、食事や入浴、排せつ、掃除、買い物などの身体介護や生活援助をします。

●訪問入浴介護

介護職員と看護職員が移動入浴車でご自宅を訪問し、入浴介護をします。

●通所介護(社協の家つどい、社協の家なごみ)

通所介護施設で、食事、入浴などの日常生活上の支援や、生活行為向上のための支援を日帰りで行います。

●居宅介護支援

ケアマネジャーが、利用者にあったケアプランを作成し、そのプランに沿って安心してサービスを利用できるように支援します。

●すこやかシニア教室(ここスタ教室)

介護予防のため、軽体操などの運動とお口や食事のことを学ぶ教室で、2週間に1回福祉ホールで開催しています。

●ホームヘルプセンターさわやか

障害者の地域での生活を支援するために、居宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護を行っています。



すこやかシニア教室



居宅介護支援



同行援護(ガイドヘルパー)



社協の家なごみ(志賀郷)



社協の家つどい(中山町)



訪問介護(ホームヘルパー)

●主要事業の紹介

重点事業 (法人運営部門)

4

法人財政基盤の強化

社会福祉協議会の財政基盤は、市民のみなさんからの会費や寄付、行政からの補助金、委託金、介護報酬となっています。とりまく環境の変化の中で、財政状況は悪化の傾向が続いており、財政健全化が大きな課題となっています。



市長要望



歳末たすけあい運動



赤い羽根共同募金



福祉ホールの指定管理

●主要事業の紹介

重点事業 (相談支援部門)

2

総合相談体制の強化

「相談窓口はあってもどこに相談してよいかわからない」。そういう声に応えるため、市民のみなさんの福祉の総合相談窓口として、医療、介護、障害、福祉の専門相談員を配置し、幅広い相談に対応しています。



●中部地域包括支援センター

電話 43-2888 FAX 43-2882
営業日 月～金 8時30分～17時15分

高齢者が住み慣れた地域で、その人らしい生活を送るために、高齢者の生活を支える総合機関です。経験のある看護師、社会福祉士、主任介護支援専門員を配置し、介護予防や高齢者の生活と権利を守る相談をお受けしています。

(担当：綾部、中筋、吉美、西八田、東八田)

1) 介護予防ケアマネジメント

2) 総合相談支援

出前講座、機関紙「おれんじ」の発行

3) 権利擁護

4) 包括的継続的ケアマネジメント

個別ケア会議、ケア推進会議、事例検討会、男性介護者のつどい



●あやべ生活サポートセンター

電話 43-2881 FAX 43-2882
営業日 月～金 8時30分～17時15分

綾部市民のあらゆる生活上の相談に応じ、自己決定を支え、社会資源を効果的に活用して問題解決に向けた支援を行う相談窓口です。

1) 心配ごと相談・総合相談(生活困窮者自立相談支援事業)

「仕事が見つからない」「働けない」「家賃が払えない」など、生活にお困りの方の相談に応じ、問題解決にあたっての支援を行います。

2) 福祉サービス利用援助事業

判断能力に不安があり、各種手続きやお金、通帳等の管理が心配な方に、相談と助言、連絡調整、手続きの同行や代行などを行い、地域での暮らしを支援します。

3) 成年後見制度に関する相談

認知症高齢者や障害者など、適切な意思決定が困難な人の判断能力を補うため、成年後見制度の利用にあたっての相談や情報提供、法人後見業務を行っています。

4) 生活福祉資金貸付事業

低所得、障害者、高齢者世帯で、一時的に資金が不足する場合などに資金の貸付を行い、自立の支援を行います。利用には一定の貸し付け要件を満たす必要があります。

5) 障害(児)相談支援事業

障害がある方のあらゆる相談に応じ、助言やサービス利用の支援を行います。また、障害者の通所や訪問などのサービスを利用の際には、課題や目標に応じた支援計画を一緒に考え、自立の支援を行います。



医療介護連携推進



男性介護者のつどい



ライフラインバンク



生活困窮サポーター「わん★びーず」



事例検討会



圏域ケア推進会議



喫茶あつる



成年後見セミナー

●主要事業の紹介

あやべボランティア情報

Ayabe-Volunteer information

■ 開所時間：月～金 8:30～17:15

■ <http://www.ayabe-vc.net/> ■ E-mail:office@ayabe-vc.net

(問) あやべボランティア総合センター 綾部市本町二丁目14 TEL. 40-1388 FAX. 40-1389



あやべボランティア総合センターの マスコットキャラクターが誕生しました

はじめまして、『あボラちゃん』です。
友達の『ケンケン』もいるよ。



あボラちゃんを通ると、胸のハートから周りにハートがあふれるよ♡♡♡
みんなよろしくね♡
イラスト：ケる子さん



あやべボランティア総合センターのリーフレットも完成しました。詳しくは、あやべボランティア総合センターのホームページをご覧ください。
URL
<http://www.ayabe-vc.net/>

プロフィール
名 前：あボラちゃん
誕生日：平成30年4月1日
友だち：ケンケン(犬)
特 技：アンテナフィンガーで情報受信・発信します。
ひらめくと、ピピッとひらめきハットが光るよ。

住友理工株式会社 / 株式会社住理工ホーステックス

ゆめ まち ひと 夢・街・人づくり助成金 in 綾部

【募集期間】平成30年4月12日(木)～7月6日(金)

- 助成金額 ※優秀事業には別途、奨励金3万円を支給
 - 夢づくりスタート部門 上限 5万円 (4団体)
 - 街・人づくり部門 上限 10万円 (2団体)
- 対象事業 (住友理工が重点的に取組む5つの分野に関する事業)
 - ・ダイバーシティ(多様な人材の活用)への貢献に関する事業
 - ・青少年の育成への貢献に関する事業
 - ・まちづくりへの貢献に関する事業
 - ・市民活動への貢献に関する事業
 - ・自然環境との共生への貢献に関する事業

(問) あやべボランティア総合センター (0773-40-1388)
※申請書や詳しいパンフレットは、ホームページからダウンロードできます。

助成対象事業募集
みんなが住みたい街・住みたくなる街をテーマに、夢をつくり、街をつくり、人を育て、わたしたちの街を『私たちが考え、そして私たちが作っていく』そんな取組みや活動をしている市民活動団体を「住友理工」「住理工ホーステックス」が応援します。

レクリエーション体験教室

サロン活動や子どもと楽しむネタ探しませんか!

- <第1講座> 6月23日(土) コミュニケーションゲーム・手作りクラフト
- <第2講座> 9月22日(土) 歌を使ったレクリエーションゲーム
- <第3講座> 12月8日(土) 健康体操・脳トレ

- 時 間：9時15分～11時45分
- 場 所：里山交流研修センター
- 定 員：各30名 ※1講座のみの受講でも可能です。
- 参加費：第1講座…200円 / 第2・3講座…各30円



(問) NPO法人 里山ねっと・あやべ (TEL 47-0040 FAX 47-0084)

募集中

主催 綾部市レクリエーション協会
(協力) さとやまランドリウム実行委員会

歳末たすけあい募金ありがとう交流会

(3/9:綾部市I・Tビル)



あい愛ルームの実践報告

サン(3)・キュー(9)の語呂合わせで、毎年歳末たすけあい募金への感謝と実践活動の報告の場として開催しているのが「ありがとう交流会」です。今回は、生活困窮者自立相談支援に係わる相談員の報告とあわせ、母子寡婦福祉会、あい愛ルームの活動紹介、参加者全員で意見交流を行いました。地域での孤立や閉じこもりを防ぐための活動がますます重要になってきていることが明らかになりました。

あなたと私の耳のことフェスティバル

(3/21:綾部市保健福祉センター)



聞こえのクイズで盛り上がる

人生のある時期から聴力低下が生じた「中途失聴者」の方、あるいは、高齢にともなって耳が聞こえにくくなった「老人性難聴」の方にとって、まだ地域の人々の理解は低く、孤独に悩みがちな状況があります。今回、耳のこと相談運営委員会(代表:朝倉正道)が主催で、市民向け啓発イベントとして初めて開催しました。講演や実践報告・交流など62名の参加がありました。

ふるさと綾部の老人を守る会春のバス旅行

(4/13:神戸・須磨)



ふるさと高齢者と連絡員(民生委員)で楽しい会食

親と離れて暮らす子どもが会員となり、ふるさと綾部に暮らす70歳以上の高齢者(親)の福祉をすすめる「ふるさと綾部の老人を守る会」恒例のバス旅行が開催されました。今回は、好天のもと、総勢174名が神戸・須磨の寿楼臨水亭で会食や手作りの演芸ショーを楽しみ、近くの須磨寺公園の散策、ナナ・ファームでの買い物など、交流を深める一日となりました。「年は互いに重ねるが、また来年、元気です!」という声が印象的でした。

介護者家族教室

家族交流会は毎回予定しています



介護者家族教室は、介護をしている家族の方を対象に、介護のコツを学ぶとともに、介護する家族同士の交流の機会づくりとして、綾部市と綾部市社会福祉協議会、各地域包括支援センターで企画をし、毎月開催をしています。介護に悩んでいる方、もう少し上手に介護をしたいという方、ほかの人の介護体験を聞きたいという方など、ぜひお気軽にご参加ください。(参加費無料)

日 程	場 所	内 容	講 師
6月27日(水) 13時半～15時半	保健福祉センター (青野町)	いまさら聞けない介護保険のこと	綾部市福祉保健部 高齢者支援課介護保険担当
7月20日(金) 13時半～15時半	保健福祉センター (青野町)	お得情報満載! 専門職と相談会	介護支援専門員、理学療法士、介護福祉士、看護師、薬剤師等

(問) 綾部市高齢者支援課 (42-4262) 綾部市社会福祉協議会 (43-2881)